



CREATE HOPE  
in the WORLD

# 志木ロータリークラブ

2023-24年度 国際ロータリー 会長 ゴードン R. マッキナリー 「世界に希望を生み出そう」  
 2023-24年度 第2570地区 ガバナー 高丹 秀篤 「希望を語ろう -We are Rotary, together-」  
 2023-24年度 志木ロータリークラブ 会長 市之瀬 正靖 「調和」

第2369回 移動例会

2023-7-5

- ◎司会 金剛 光裕 副会長
- ◎点鐘 市之瀬正靖 会長
- ◎ソング 君が代・奉仕の理想
- ◎ソングリーダー 神山 昌之 副SAA
- ◎四つのテスト 神山 昌之 副SAA



市之瀬正靖会長 小林八郎前会長



金剛光裕副会長 三上隆俊前副会長

## 「引継式」



例会に先立ち、小林八郎前会長から市之瀬正靖会長に、三上隆俊前副会長から金剛光裕副会長に、吉原正前幹事に上野剛彦幹事に、タスキ、バッジの引継ぎと、新役員から旧役員へ記念品の贈呈がありました



上野剛彦幹事 吉原正前幹事

「会長挨拶」

会長 市之瀬正靖



本年度、志木ロータリークラブの会長のバッジを引き継ぎました、市之瀬です。

2007年3月、故西川会長年度に入会をさせて頂き、あっという間の16年間でした。不勉強な会員ですが、歴代会長の築いてきた伝統と歴史を引き継ぎながら1年間尽力してまいりますので、会員皆様のご協力を宜しくお願い致します。

さて本日は、小林前会長から私の年度への粹なおはからいで、クラブの年初めに田幸さんと細田さんの入会式を行うことができます。小林前会長には、改めて御礼を申し上げます。ありがとうございます。

そして、田幸さん・細田さん、ようこそ志木ロータリークラブへいらっしゃいました。心から歓迎いたします。後ほど、改めてご紹介いたしますのでよろしくお願い致します。

本年度一年間、会員皆様のご支援・お力添えを頂きながら「笑顔」を大切に、志木ロータリークラブを盛り上げていきたいと思えます。どうぞ宜しくお願いいたします。

「理事会報告」(7/5分) 会長 市之瀬正靖

1) ガバナー補佐訪問の件

ガバナー補佐による書類点検は、補佐訪問日とは別日に事務局にて点検していただくことを依頼することが承認された。

2) ガバナー公式訪問の件

ガバナー公式訪問日の会員との懇談は、入会5年未満の会員を対象とすることを確認した。また、クラブ協議会の開催方法につ

いて確認した。

3) 小諸 RC 訪問の件

小諸 RC の例会参加になるので、例会扱いとすることを承認した。

バスにて移動するので、見積もりを確認し承認された。

4) 8月30日夜間例会の件

移動例会として例会扱いとすることを承認した。鯉清の予算が8千円なので、会員負担を8千円とすることが承認された。

5) 親睦旅行の件

親睦旅行は伊勢方面、日程は調整中ということが報告された。

6) その他

①会費の集金方法について、事務局の負担を軽減するため、原則振込処理とすることが提案され承認された。

②例会のオンライン運営について、内山会員に例会1回当たり5千円で委託することが承認された。

③志木市体育協会特別会員への加入について、例年通り2口加入することが承認された。

④小林年度の最終例会の決算書について、宮田会員より報告がされた。

「幹事報告」

幹事 上野剛彦



1. 第2グループ清水ガバナー補佐より2023-24年度第1回会長幹事会開催案内受信

2. 志木市教育委員会より「第22回いろは子ども文化賞」事業への協賛のお願い受信

3. 志木市川と街をきれいにする運動推進協議会より「川・街エクスプレス」受信

出席は会員の義務です。メイクアップを忘れずに！

■和光RC 毎週(月) 12:30~13:30 郵便事業(株)和光支店3F 事務局 048-465-0088  
■朝霞キャロットRC 第2第4(月) 19:00~20:00 スマイルホテル 3階ホール 事務局 048-470-6811

4. 志木市青少年育成市民会議より夏の非行・  
薬物乱用防止キャンペーン実施への協力依  
頼受信

「前年度米山功劳クラブ表彰伝達」

会長 市之瀬正靖



前年度小林会長に、市之瀬会長より伝達

「入会式」

会長 市之瀬正靖



田幸 御加(51歳)  
(株)アルファテック 専務取締役  
細田いづみ(42歳)  
ナチュラルネイル 代表

「今月の誕生日祝」 親睦 副委員長 西浦建貴



5日 爲井公拓会員 10日 清水良介会員  
14日 深澤好文会員 27日 内山雄二郎会員

「米山功劳者表彰伝達」

会長 市之瀬正靖



第5回マルチプル 清水和之会員、高野邦夫会員  
第3回マルチプル 塩野 章会員  
第2回マルチプル 宮原俊介会員

「委員会報告」

●小諸交流委員会

委員長 小泉市朗



「納涼夜間例会」開催のご案内

日時：8月2日(水) 18:30～19:00 例会

第2570地区 第2グループ各RC 例会日・会場・事務局一覧 (順不同)

■朝霞RC 毎週(火) 12:30～13:30 埼玉りそな銀行朝霞支店  
■新座こぶしRC 第1第3(水) 12:30～13:30 ベルセゾン

事務局 048-466-3770  
事務局 090-1551-8380

2369-3◇  
志木 RC 会報

19:00～ 納涼会

会場:スタラス小諸(小諸市飯綱山公園内)

会費:8,000円

## 「ちょっと一言」

山村昭康会員



雑誌『おとなの週末』7月号(講談社)に「内田栄信さんのイロハ河童」が大きく取り上げられております。ぜひご覧下さい。

## 「卓話」

### 「会長アワー 『調和』」

会長 市之瀬正靖



皆さんこんにちは。2023-24年度、志木ロータリークラブ会長を務めさせていただきます。市之瀬正靖です。

本日は、会長アワーということでお時間を頂きありがとうございます。歴代会長が残された志木ロータリークラブの歴史を汚さぬよう、多様な意見を聞きながら『自分らしさ』も忘れずに誠心誠意努めてまいり所存ですので、宜しく願いいたします。

2023-24年度ゴードン R. マッキナリーRI会長は、『世界に希望を生み出そう』をテーマに掲げました。

会長は、国際協議会の会場で、このようなスピーチをしています。まずは、映像をご覧ください。

このテーマは、ロータリーが世界に変化をもたらす方法であり、また自分自身の中で同様の変化を促す方法であると説いています。

また、2570地区高丹秀篤ガバナーは、『希望を語ろうーWe are Rotary, togetherー』とテーマを発表しました。

「継続」とはこれまでのリーダーのアイデアや取り組みを“前進”させること。多くの場合“前進”するためには“変化”“脱皮”することが必要だ」と言っています。

高丹ガバナーは、

1. 【クラブ活性化支援】
2. 【会員の学ぶをサポート】
3. 【クラブと地区をより身近に】
4. 【地区活性化の行動を起こそう】

の4項目を行動計画の中で掲げています。

さて、本年度の当クラブの会長テーマは『調和』としました。

皆さんは、『調和』と聞いてどのようなイメージを持ちますか？ おそらく、「ととのっている、バランスがいい」といったところでしょうか。広辞苑には、「うまくつり合い、全体が整っていること」としてされています。

波風たたない、なだらかなイメージがある調和を、京セラの創業者である稲森和夫氏は、「調和とは、自分だけでなくまわりの人々みんなが常に幸せに生きることを願う心」と言っています。私たちロータリアンの精神は、「奉仕の理念」にあります。先輩方の知恵と経験、会員皆様のお力をお借りしながら、地域の幸せと笑顔が繋がるように本年度のテーマを「調和」とし、志木ロータリークラブの活動を行っていきたいと思っております。

例会は変更になる場合があります。ご確認下さい

◇2369-4  
志木RC会報

■新座RC 毎週(木) 12:30~13:30 ベルセゾン  
■富士見RC 毎週(金) 12:30~13:30 島田ビル1F

事務局 048-473-7041  
事務局 049-251-6596

この三年間、私たちの生きる社会は新型コロナウイルスによって大きく変わりました。新型コロナウイルスの流行で命を失うだけでなく、多くの人々が傷ついてきました。ゴードン R. マッキナリーRI 会長も「人と人がつながる機会が失われ、教育や対人スキルを身につける機会を最も妨げられている世代が、子どもや若者だ」と言っています。行動を制限されたことで、多くの人々が社会的な繋がりを絶たれ、心に孤独を抱えた人が増えたように思います。

私も三人の娘の父親ですが、これまで青少年相談員やスポーツ少年団など地域活動に参加させて頂いてきた中で、子どもたちとのかわりを持った活動をしてきました。

その経験の中で感じたことは、子どもとは、自分が必要とされたい、自分の個性を理解し認めてほしい、居心地の良い場所や、やりたいことを見つけない、と願う一人の意思を持った人間、なのだということです。そんな子どもたちの願いは人と関わる中で育ち満たされていくのに、コロナによって大切な心の育みを妨げられたのが今の子どもたちです。今の子どもたちの中で、うごめく問題を想像してみてください。いじめ・不登校・貧困・ヤングケアラーなど幾つもありますが、その中で私は心の居場所・よりどころがなかったり、困っている時に「助けて・手伝って」を言えない、そのサインに気付く大人がいないことだと思います。人と人が関わることで、相手を知り・自分を知り・人を知り・社会を知っていく、その経験を制限されたのが、コロナ禍の子どもたちなのです。

その結果、今自己肯定感の低さが問題となっています。自己肯定感とは、自分自身をありのままに認め、受け入れ、尊重し、肯定的に受け止められる感覚のことです。この感覚があるかどうかは、将来の仕事や対人関係、自己実現にも影響を与えます。自分を認めるように他者を認め、自分を尊重するように他者も尊重できること (I'm ok, You're ok) の感覚を子どもたちが持ち、明るい未来に期待で

きる社会を私たち大人がその土壌を整えなければいけないのではないのでしょうか。

子どもたちの夢や希望の手助け、子どもたちが本来持っているすばらしい生きる力を十分に発揮できるような事業を行いたいと考えております。

そのためには、会員相互の意思疎通を一層深めることが大切です。お互いに思いやりを持ちながら継続と変化をもたらしていきましょう。会員相互のコミュニケーションを図るために、親睦活動・炉辺活動を進めてまいります。

最後に、主語は子どもたちが、本年が「調和」と「笑顔」を大切にし、「希望」を生み出せる1年となりますよう、会員皆様のご指導を仰ぎつつ尽力をしてまいりますのでご支援ご協力をお願い申し上げます。

ご清聴ありがとうございました。



●出席報告			出席向上	委員	醍醐治江
会員数50名	出席義務者47名	免除者3名			
本日出席	本日欠席	本日出席率			
45名	5名	91.84%			
前々回 MU	前々回修正出席率	平均出席率			
(3名中0名)	95.74%	87.31%			